

第40回福岡県女子剣道選手権大会

大会実施要領

(新型コロナウイルス感染症対策)

大会要項（参加者募集）における確認事項

○次のことが当てはまる人は大会に参加できない。

※大会当日、会場入口前で検温を実施

◎体温が37.5度以上ある人や37度以上あり且つ風邪症状がある人

◎同居家族や身近な知人に感染者または感染の疑いのある方がいる人

◎過去14日以内に渡航歴のある人や感染流行地域を訪れた人

◎基礎疾患のある人

※基礎疾患のある人…糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患、透析を受けている人、抗がん剤などを用いている人

※基礎疾患のある人が理由あって参加する場合は、主治医の承認を得るものとする。

○大会に申し込む人は、自己の責任において当日の大会に参加するものとする。

○過去に新型コロナウイルス感染歴のある方は、大会参加について医師と相談して決める。

○大会運営関係者（選手および応援者1名・大会役員・係員等）以外の方の入場はできません。

【選手、応援者】

- 面マスク、シールド着用（マスクは口と鼻を確実に覆うものとし、持病等により鼻を出す必要がある場合は申請をすること。シールドは口元を覆うものとし、形状の指定はしない）
- 目印は、必ず自分の物を使用。会場内外では常にマスクを着用する。
- 応援者は、声を出して指示を出さない。選手は、声援をしない。応援は拍手のみとする。
- お互いに鑿ぜり合いにならないように試合を行う。もし鑿ぜり合いになったらすぐに分かれるか、引き技を出し、掛け声は出さないこと。（引き技の発声は可）
- 試合が終了したら、すみやかに会場（施設）から退出する。
- 大会中に発熱したり体調が悪くなった時は棄権し、すぐに帰宅して経過観察する。
- 第1試合に出場する選手は、開始時刻の10分前には各試合場にて待機する。
- 延長は3分で区切り、3回毎に5分間の休憩を取る。

【審判員】

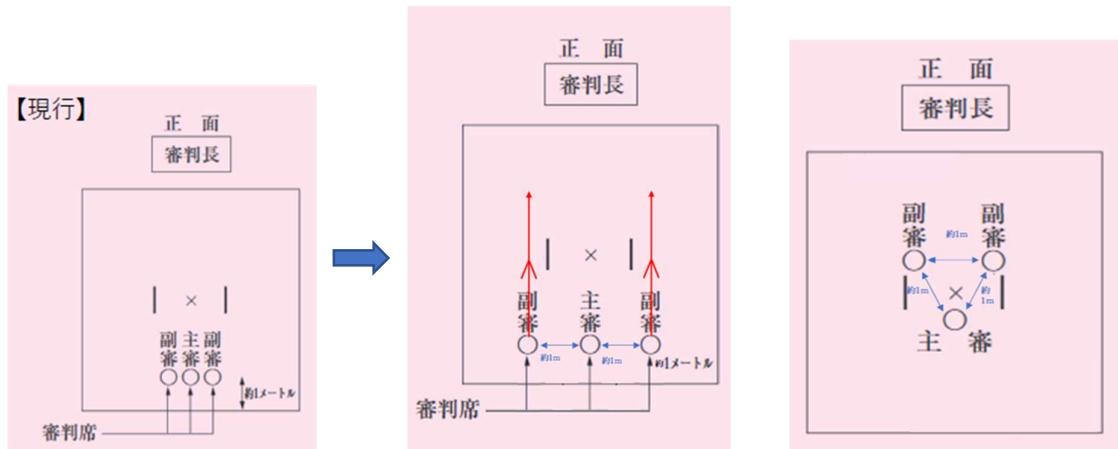
- 自分用の審判旗を持参する。大会本部の審判旗を使う場合は、使用前および使用后に必ずアルコール消毒をすること。
- 試合者が鑿ぜり合いを解消しない場合、すぐに「分かれ」をかける。
- 試合終了後に当該試合の反省を行う場合は、1m以上の間隔を空ける。
- 審判員の試合場への入退場は、1m以上の間隔を空けて行い、副審は試合開始線の外側を通り定位置まで進む。
- 合議は、1m以上の間隔を開けて行う。

※来場する全ての方で、大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、福岡県剣道連盟事務局に至急連絡をし、また、全日本剣道連盟ホームページの「剣道における新型コロナウイルス感染症報告フォーム」より入力して、報告をしてください。

【別添 1】

剣道試合・審判運営要領 p 14 審判員の移動・交替要領

第 1 図 審判員の入場および整列



【別添 2】

審判員合議時の位置

【竹刀検査】

- 検査を受ける人はマスクを着用し、検査員はマスクと使い捨て手袋を着用すること。
- アクリル板等で検査員と検査を受ける人を仕切ること。
- 検査⇒退場のルートを一方通行にすること。
- 待機時に間隔をとること。(床にテープを貼るなど位置を決めておく。)